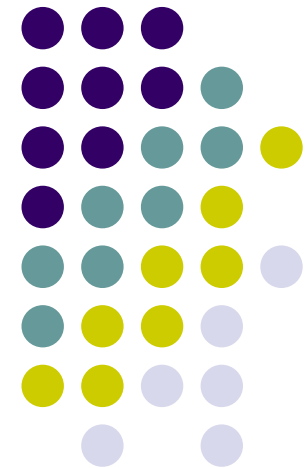


# 平成24年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

大阪証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

# 会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災以降、一時的に消費が落ち込み、その後もギリシャに端を発したヨーロッパの債務問題、円高、タイの洪水被害等により、依然として厳しい状況が続きました。
- 当業界におきましては、平成23年度全国段ボール生産量は前期比101.0%となり、また、当事業年度は後半に原紙価格の値上げがあり、また主原料の加工機械に使用する重油価格も前半は比較的安定しておりましたが、後半は急上昇いたしました。
- 生産量につきましては、段ボールシート59百万㎡(前期比2.4%減)、段ボールケース41百万㎡(前期比0.4%減)となりました。
- 売上高5,022百万円(前期比4.2%減)となりました。利益面におきましては、当事業年度の初めに営業が個々に目標を計画し、その目標に向かって全力を注いだことと、徹底した経費削減等により、経常利益420百万円(前期比15.8%減)となり、仙台事業部被災関連費用等により、当期純利益187百万円(前期比14.3%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は大阪証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

# 業績概要①



売上高：前期比4.2%減、経常利益：前期比15.8%減、当期純利益：前期比14.3%減となりました。

(単位：千円)

	当期 (平成24年3月期)	前期 (平成23年3月期)	前期比率
売上高	5,022,083	5,240,055	-4.2%
営業利益	408,794	485,302	-15.8%
経常利益	420,255	499,016	-15.8%
当期純利益	187,467	218,872	-14.3%
1株当たり当期純利益金額(円)	38.96	45.49	



## 業績概要②

流動資産はたな卸資産の増加し、総資産は前期末比0.5%増、自己資本比率68.6%となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成24年3月末)	前期末 (平成23年3月末)
流動資産	3,943,726	3,886,641
現金及び預金	2,237,391	2,287,464
受取手形	487,358	532,825
売掛金	793,615	747,175
たな卸資産	363,567	256,862
その他流動資産	61,793	62,314
固定資産	2,388,418	2,412,959
有形固定資産	2,007,693	2,010,407
無形固定資産	15,160	16,324
投資その他の資産	365,564	386,228
資産合計	6,332,144	6,299,601

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成24年3月末)	前期末 (平成23年3月末)
流動負債	1,406,922	1,490,228
支払手形	952,795	941,219
買掛金	165,876	213,920
未払法人税等	60,329	120,490
その他の流動負債	227,920	214,597
固定負債	582,449	583,966
退職給付引当金	201,585	212,378
役員退職慰労引当金	363,963	354,687
その他	16,900	16,900
負債合計	1,989,371	2,074,194
純資産合計	4,342,773	4,225,406
負債・純資産合計	6,332,144	6,299,601



## 業績概要③

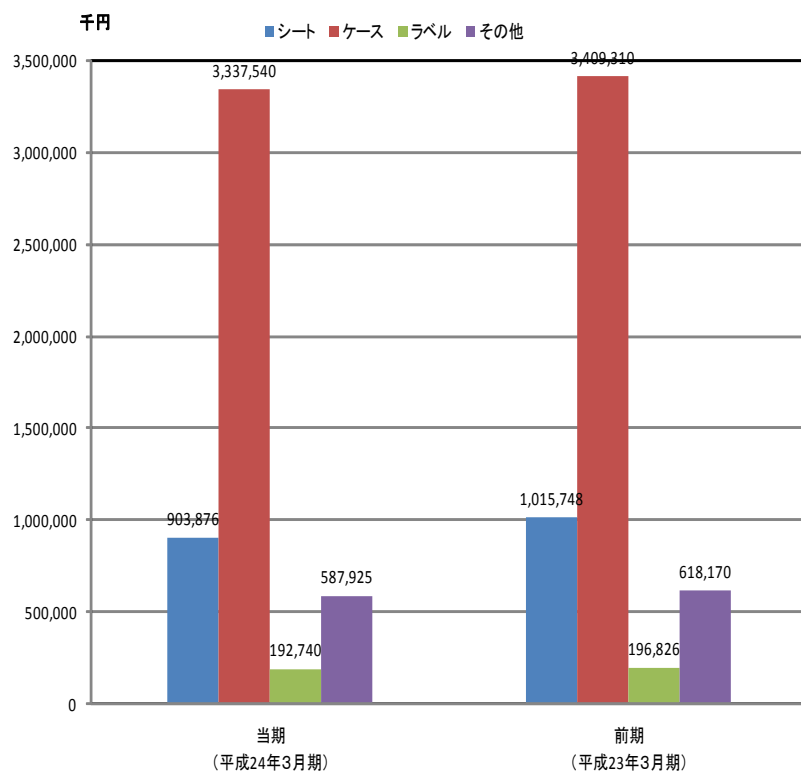
(単位:千円)

	当期 (平成24年3月期)	前期 (平成23年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	121,828	520,832
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 99,757	▲ 92,608
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 72,162	▲ 48,155
増減額(減少:▲)	▲ 50,091	380,068
現金及び現金同等物の 期首残高	2,258,265	1,878,197
現金及び現金同等物の 期末残高	2,208,173	2,258,265

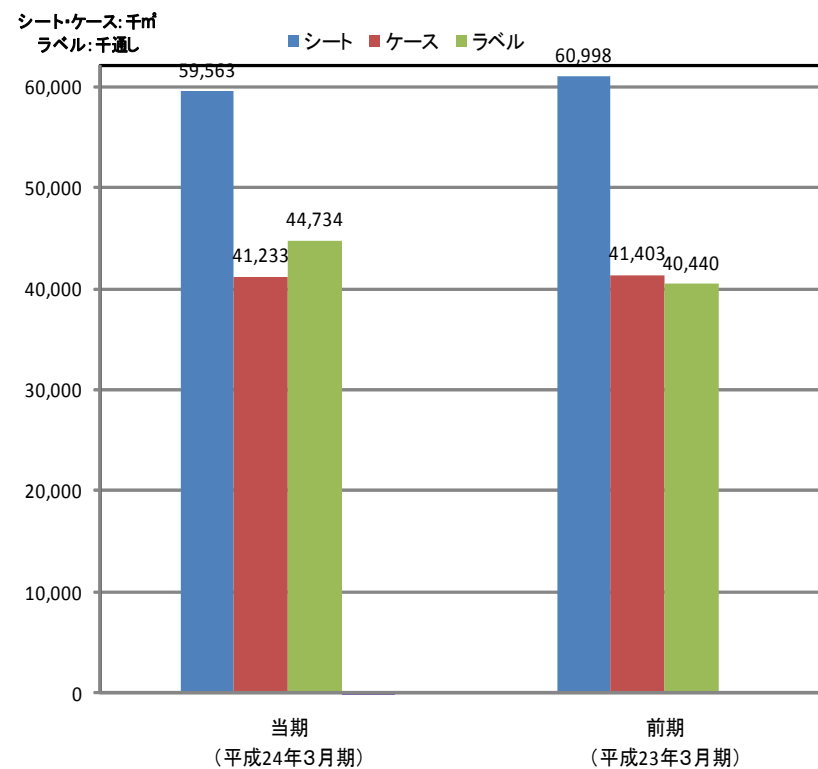


# 品種別売上高及び生産実績

シート・ケース・ラベル・その他ともに売上減少となりました。



シート・ケースは生産減少し、ラベルは生産増加となりました。





# 今後の見通し

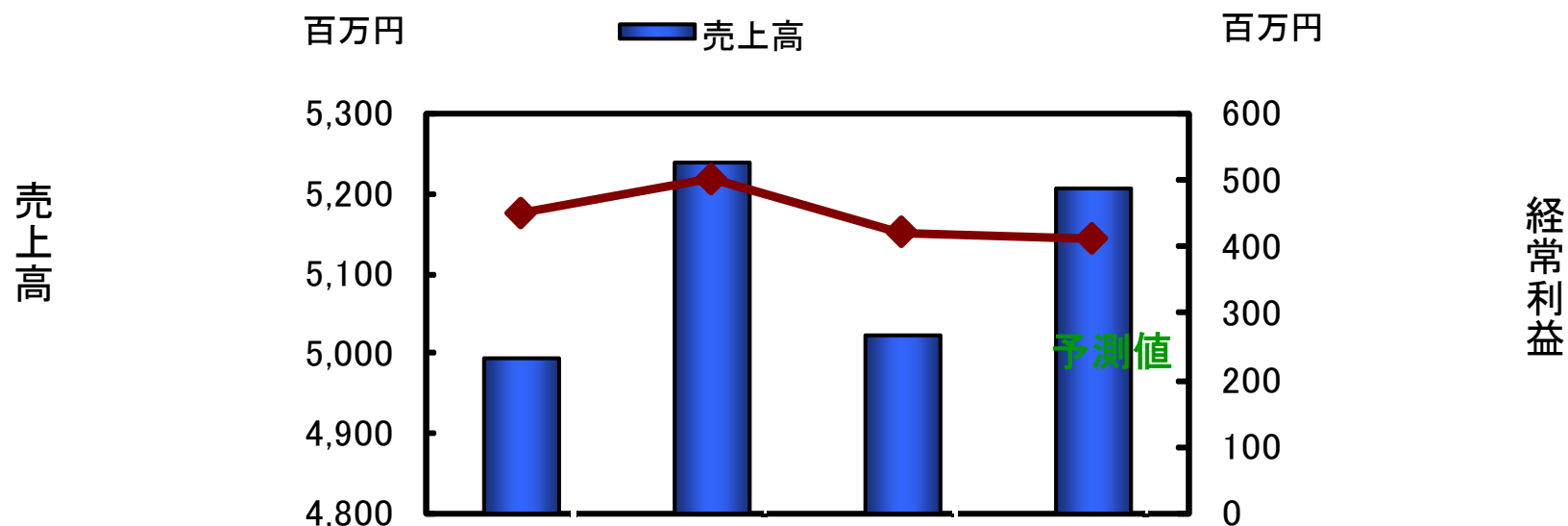


- 次期の見通しにつきましては、東日本大震災及びそれに伴う原子力発電の影響もあり、国内経済は景気の回復の兆しが見られるとは言え、当面は厳しい状況が続くと思われまます。
- 当業界におきましては、段ボール原紙の値上げもあり、また、シートの値上げは概ね終わりましたが、ケースは思う程単価に転嫁出来ていないのが現状と思われまます。当社といたしましては、このような状況のもと徹底した経費削減と年間を通した販売イベントで出来るだけ利益の確保をしたいと考えております。
- このような見通しのもと、当社の平成25年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,207百万円(前期比3.7%増)、営業利益407百万円(同0.3%減)、経常利益410百万円(同2.2%減)及び当期純利益213百万円(同14.0%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



# 売上高および経常利益の見通し

※売上高5,207百万円(前期比3.7%増)、営業利益407百万円(同0.3%減)、経常利益410百万円(同2.2%減)及び当期純利益213百万円(同14.0%増)を計画しております。



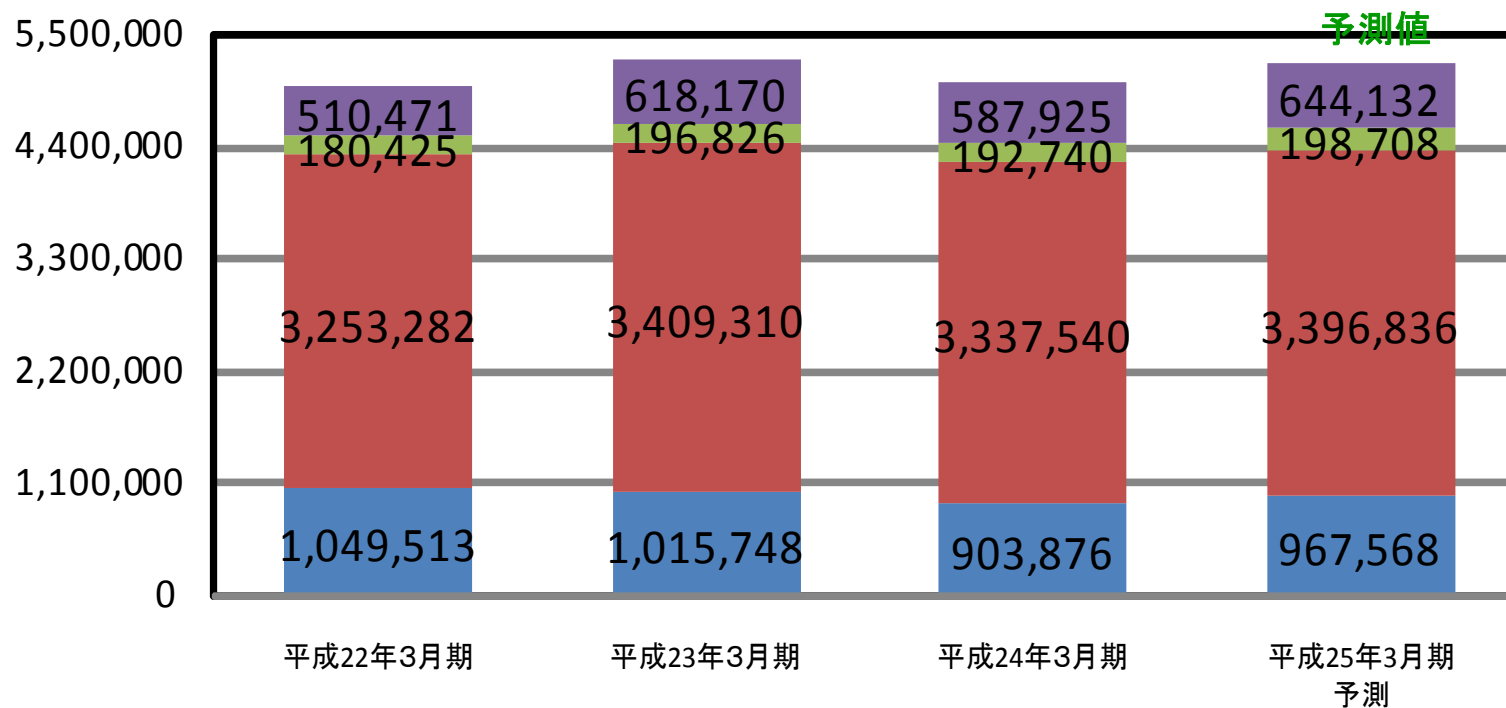
	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期 予測
売上高	4,993	5,240	5,022	5,207
経常利益	448	499	420	410



# 品種別売上高の見通し

※シート7.0%増、ケース1.8%増、ラベル3.1%増の見込みであります。

千円 ■ シート ■ ケース ■ ラベル ■ その他





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいきます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。